

まわい

坂井市議会  
PRマガジン



トピックス

福井港丸岡インター連絡道路の  
整備促進を要望…15

etc

9月定例会

坂井市

第58号

2020.11

# 教育民生常任委員会報告

## 主な質疑内容

### 三国病院

問 発熱外来の待合室は。

答 自動車に乗ったままのドライブスルー方式で、検体だけ採取する手法を考えている。必要に応じて、コンテナ2台と診察室の3カ所のブースで適切に対応する。

また、市の広報紙や三国病院のホームページなどで周知する。

問 人の命の大切さを伝えるため、助産師による出前授業は行っては。

答 学校から依頼があれば病院として積極的に考えていく。

### 教育委員会

問 体育館のWi-Fi整備について、カメラなどの編集機材が必要では。

答 Wi-Fiの整備により、リモートでの通信が可能になり、例えば県外の講師に教室を依頼することができる。編集機材については、各団体やスポーツ協会が対応する予定であり、動画の編集や撮影は、今後検討する。

問 落雷で被害を受けた長畝小学校の火災受信機の修理は。

答 火災受信機の本体と副受信機をすべて取り替え、建物共済保険で全額補償される。

問 小学校のトイレの洋式化による影響は。

答 和式よりも洋式の方が広いスペースを必要とするため、場所によってはトイレの数が若干減少する場合もあるが、大きくは減少しない見込みである。

問 コロナ禍における成人式の開催は。

答 コロナ対策として、分散方式で、三国、春江中学校の出身者および居住者は三国体育館、丸岡、丸岡南、坂井中学校の出身者および居住者は丸岡体育館で開催予定である。

また、欠席者に対しては、ライブ配信とリモート参加を呼び掛けていく。

### 市民福祉部

問 幼保園の無線LAN整備や私立保育園のICTの補助金により、運営はどう変わるのか。

答 タブレット型端末の導入により、保育の指導案や園児の出席状況、活動記録の管理が事務室以外でも確認でき、時間や場所にとらわれず保育業務ができる。

問 健康アプリ「歩こっざ<sup>プラス</sup>」の反響は。

答 市民から、「利用が楽しい」「アプリのインストールが難しい」との意見がある中、アプリの普及拡大に順次対応する。

問 高齢者見守りロボット「PaPeRoi<sup>パペロイ</sup>」の実証実験の成果は。

答 実証実験の途中だが、利用者からは孤独感や不安感が軽減されるなどの意見が出ている。



▲ひとり暮らし高齢者などの見守りに導入するロボット「PaPeRoi」

# 総務常任委員会報告

## 主な質疑内容

### 総務部

問 9月4日に震度5弱を観測した地震について、被害状況は。

答 人的被害では、80代の女性1人が骨折で重症、小学校では動揺した数人の児童が保健室で健康観察となった。建物被害ではアル・プラザアミの天井パネルが落下し1日休業、学校では天井の器具やパネルの一部が落下、民家では壁紙破損やタイル床がひび割れたという報告を受けている。また、JR、えちぜん鉄道ではダイヤの乱れがあった。

問 緊急地震速報が出なかったのはなぜか。

答 基本的に最大予測震度5弱の場合は、防災無線と連動して自動的に緊急放送が流れる。しかし、今回は気象庁からの発表もあったように、最大予測震度5弱を予測できなかった。

### 総合政策部

問 デマンド交通は、※ドア・ツー・ドアでの乗降とすべきでは。

答 今回、停留所での乗車降車を原則とすることで、タクシー業者との役割を明確にして共存を図っていきたい。

問 北陸新幹線開業と共に春江駅と丸岡駅が第三セクターに移行したとき、両駅は無人駅になるのか。

答 無人化については唐突な発表で沿線市町、県にも事前に十分な説明がなかった。JRに対して遺憾の意を伝え、利用者の利便性が著しく低下しないように考慮することを求めた。

問 農林水産省では、若手職員が農産物のPR動画などをYouTubeにアップしているが、本市でも動画を活用したPRをしてみてもどうか。

答 当市においてもカニの魅力を伝える動画を実験的にYouTubeへアップしており、越前がにの解禁と合わせて周知していく。今後、動画の質の向上や効果的なりりす方法などについて研究していきたい。

### 財務部

問 来年2月の確定申告における、新型コロナウイルス感染症対策は

答 相談業務はアクリル板を使っの対応や、常時マスクの着用、アルコール消毒はもちろんのこと、各支所やコミュニティセンターにおいても、5日から1週間程度持ち回りで実施していく。

## 陳情

|       |                             |    |
|-------|-----------------------------|----|
| 陳情第3号 | 地方財政の充実・強化を求め<br>る意見書採択について | 採択 |
|-------|-----------------------------|----|

### <主な意見>

- 財源不足に対して交付税の増額の確保が必要。
- 地方財政が新型コロナウイルスによって大変厳しいことは承知のとおり。
- 新型コロナウイルスだけではなく、大規模災害、人口減少、超高齢化と地方財政の充実強化が求められるとき。

☆発議第3号にて陳情をもとに意見書を提出。



◀市の若手職員が越前がにのPRをする動画（下のバーコードを読み取るとYouTubeで動画を見ることができます）



※ドア・ツー・ドア…Door to Door。通行ルートやバス停は設けず、1軒ごとに家から目的地まで運行する方式。

# 定例会審議結果

★9月定例会に提出された議案と議決結果 ○…賛成 x…反対 □…棄権 △…欠席 -…議長のため原則採決に参加できない

| 議案番号   | 件名  | 議決結果 | 議席 |   |   |   |   |   |   |   |   |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |
|--------|---|------|----|---|---|---|---|---|---|---|---|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|
|        |   |      | 1  | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 | 7 | 8 | 9 | 10 | 11 | 12 | 13 | 14 | 15 | 16 | 17 | 18 | 19 | 20 | 21 | 22 | 23 | 24 | 25 | 26 |
| 議案第58号 | 財産の取得について   | 可決   | ○  | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○  | ○  | ○  | ○  | ○  | ○  | ○  | ○  | ○  | ○  | ○  | ○  | ○  | ○  | ○  | ○  | ○  |
| 議案第59号 | 令和2年度坂井市一般会計補正予算(第7号)                                 | 可決   | ○  | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○  | ○  | ○  | ○  | ○  | ○  | ○  | ○  | ○  | ○  | ○  | ○  | ○  | ○  | ○  | ○  | ○  |
| 議案第60号 | 指定管理者の変更(東尋坊駐車場)について                                  | 可決   | ○  | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○  | ○  | ○  | ○  | ○  | ○  | ○  | ○  | ○  | x  | ○  | ○  | ○  | ○  | ○  | ○  | ○  |
| 議案第61号 | 坂井市東尋坊観光交流センター条例を廃止する条例について                           | 可決   | ○  | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○  | ○  | ○  | ○  | ○  | ○  | ○  | ○  | ○  | ○  | ○  | ○  | ○  | ○  | ○  | ○  | ○  |
| 陳情第3号  | 地方財政の充実・強化を求める意見書採択について                               | 採択   | ○  | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○  | ○  | ○  | ○  | ○  | ○  | ○  | ○  | ○  | ○  | ○  | ○  | ○  | ○  | ○  | ○  | ○  |
| 発議第3号  | 地方財政の充実・強化を求める意見書の提出について                              | 可決   | ○  | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○  | ○  | ○  | ○  | ○  | ○  | ○  | ○  | ○  | ○  | ○  | ○  | ○  | ○  | ○  | ○  | ○  |
| 発議第4号  | 新型コロナウイルス感染症の影響に伴う地方財政の急激な悪化に対し地方税財源の確保を求める意見書の提出について | 可決   | ○  | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○  | ○  | ○  | ○  | ○  | ○  | ○  | ○  | ○  | ○  | ○  | ○  | ○  | ○  | ○  | ○  | ○  |
| 諮問第5号  | 人権擁護委員候補者の推薦について                                      | 原案答申 | ○  | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○  | ○  | ○  | ○  | ○  | ○  | ○  | ○  | ○  | ○  | ○  | ○  | ○  | ○  | ○  | ○  | ○  |
| 諮問第6号  | 人権擁護委員候補者の推薦について                                      | 原案答申 | ○  | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○  | ○  | ○  | ○  | ○  | ○  | ○  | ○  | ○  | ○  | ○  | ○  | ○  | ○  | ○  | ○  | ○  |
| 諮問第7号  | 人権擁護委員候補者の推薦について                                      | 原案答申 | ○  | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○  | ○  | ○  | ○  | ○  | ○  | ○  | ○  | ○  | ○  | ○  | ○  | ○  | ○  | ○  | ○  | ○  |
| 諮問第8号  | 人権擁護委員候補者の推薦について                                      | 原案答申 | ○  | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○  | ○  | ○  | ○  | ○  | ○  | ○  | ○  | ○  | ○  | ○  | ○  | ○  | ○  | ○  | ○  | ○  |

## 令和2年度 一般会計9月補正予算概要

**補正額6億9,654万円** (補正後の額 553億6,409万円)

**主な事業**

- ◆行政改革事業 **7,800万円**  
新型コロナウイルス感染症の影響を受けた指定管理者に対し、安定的な施設運営を図るために支給する各種給付金の増額。
- ◆シティセールス事業 **1,900万円**  
新型コロナウイルス感染症収束後に想定される旅行需要を見据え、電子媒体を核とするプロモーション活動の体制整備に係る費用の増額。
- ◆文化の森・みくに市民センター管理運営事業 **250万円**  
みくに未来ホールおよびハートピア春江へのサーモグラフィカメラ検温器などの設置に係る費用の増額。
- ◆小学校施設整備事業 **1億8,800万円**  
感染症予防を見据えたトイレの洋式化・乾式化改修に係る費用の増額。
- ◆地域交通対策事業 **5,250万円**  
えちぜん鉄道西長田ゆりの里駅駅舎整備における、スロープの増設やホーム屋根の設置整備に係る費用の増額。また、安全・安定した運行を維持していくため、運行および受入環境整備の支援に伴う増額。
- ◆次世代型地域交通導入推進事業 **2,940万円**  
坂井市コミュニティバスの接続ルートに代わる地域交通手段として、利用者が事前に予約し、それに合わせて運行する新たな交通手段である「オンデマンド型」のサービス導入に向けた実証実験に係る費用の計上。

# 産業建設常任委員会報告

## 主な質疑内容

### 産業環境部

- 問** ゆりの里公園の遊具新設は、夢の遊び場誕生プロジェクトとなっているが、来場者増につながる整備なのか。
- 答** 遊びながら学ぶ公園というコンセプトに基づき、市内外の人が気軽に訪れることができる事業になるよう取り組んでいく。
- 問** 丸岡・三国地区のカラス、イノシシなどの駆除対策強化を。
- 答** 丸岡・三国市街地のほか、三里浜砂丘地や坂井北部丘陵地でも被害が出ており、関係機関と連携して取り組んでいく。
- 問** 三国港市場のリフレッシュ整備は中長期的な視点で取り組むべきではないか。
- 答** 昭和46年に建設されており、観光面や市全体のイメージアップを目的に整備していきたい。
- 問** 東尋坊整備計画では、現状の駐車場進入路が変更になるのか。
- 答** 進入路を現状から北側に移して入口を明確にし、混雑時の渋滞緩和を図りたい。
- 問** 新幹線開業までに、東尋坊駐車場を無料にするべきではないか。
- 答** 東尋坊再整備計画の駐車場一元化という中で、地元と駐車場のあり方について協議していきたい。
- 問** 令和2年の三国花火はオリンピックの開催で中止になったが、令和3年も中止になるのか。
- 答** 新型コロナウイルス感染症対策をはじめ、さまざまな状況を想定しながら、実施に向けて必要な協議を重ねていく。

- 問** 河川ごみ対策は市単独ではなく、さまざまな団体と連携して取り組んでいくべきではないか。
- 答** 公益財団法人日本財団と清掃活動を行うボランティア団体をつなぎ、ごみ問題の解決に向けた取り組みにつなげていきたい。

### 建設部

- 問** 空き家対策の進捗状況について。
- 答** 32戸あった特定空き家のうち13戸解決している。残りの19戸も引き続き解決できるよう取り組む。また、世帯数の減少に伴って増加が見込まれる空き家の抑制事業も並行して進めていく。
- 問** 市道随応寺末政線の整備進捗状況は。
- 答** 現在、進捗状況は約75%であり、令和2年度分は1月工事着工に向けて準備を進めている。
- 問** 上下水道管の漏水状況は。
- 答** 水道管の漏水は年間20件程度、下水道管については、三国地区において複数の漏水や不明水箇所を確認しており、順次更新工事を行っている。



▲令和3年9月18日に予定されている三国花火

アンテナショップの機能充実を

問 東京都品川区の戸越銀座商店街にある坂井市アンテナショップについて、コロナ禍による影響は。

答 都の外出自粛要請や国の緊急事態宣言により、4月と5月の利用人数や売り上げはほとんどないという状況である。

問 6月1日から営業を再開し、少しずつ回復しているものの、コロナ禍の影響でイベントが中止されているため、厳しい状況が続いている。

答 近隣の飲食店などと連携し、坂井市産の食材や商品のPRを図っては。

問 令和2年2月に「食で旅する坂井」と題したPRを実施し、甘えびを取り上げて戸越銀座商店街の飲食店6店で提供した。

答 今後も本市の味覚に触れてもらうような取り組みを検討していきたい。

問 アンテナショップにおいて、本市への旅行を促すような取り組みを行っているか。

答 店舗内に本市の観光パンフレット



辻 人志

トを備えるとともに、品川区の事業者と連携して、自宅にいなながらインターネット上で旅気分を味わえる「おうちソク旅」を活用して市の魅力を動画配信している。

問 観光面だけでなく、本市への移住やサテライトオフィス設置などもPRしてみているか。

答 店舗の一角に移住促進パンフレットを設置する一方、DMOさかい観光局や県の東京事務所と連携して、市内産業のPRや移住およびワーケーションについての情報発信を進めていきたい。



▲アンテナショップの様子

自粛・制限下でも心折れない文化芸術活動の維持のために

問 新型コロナウイルスの影響で文化芸術活動の発表の場が失われている。

答 観客側においても活動に触れる機会が損なわれ、人々の感性や創造性を喚起する価値の提供が停滞している。

問 文化の火を絶やさないために芸術活動を放送、配信してはどうか。

答 坂井市文化振興事業団の劇団M.A.F.F.の公演は、新型コロナウイルスにより延期されたが、さかいケーブルテレビで劇団員による朗読を放送したところ大変好評であった。

問 活動の機会を奪われた文化関係者に、さかいケーブルテレビでの企画出演などの情報を提供し、活動を支援していきたい。

答 そのほかユーチューブにて動画配信を行い、会場に足を運べない人にも楽しんでいただけるように取り組んでいる。

問 坂井市民文化祭が中止になった場合の作品・公演の紹介方法は。



山田 秀樹

答 国や県民行動指針に沿ったガイドラインを策定し、感染拡大防止策を確実に講じ、文化祭を開催する予定である。

問 中止の場合は、ケーブルテレビやオンライン配信を始め、さまざまな方法で発表の場の検討を行う。

答 子どもたちの歌や遊戯などの映像とメッセージを訪問制限されている高齢者施設に届け、学校と施設をつないでいく。

問 子どもたちの肖像権の問題や高齢者施設のインターネット環境、スタッフの負担を考慮すると現状では厳しいと考える。



▲第14回坂井市民文化祭作品

新型コロナウイルスにおける市の取り組みは

問 災害時の避難所における感染症対策はどのようになってきているのか。

答 消毒液やマスクを中心に備蓄し、体温計や段ボールベッド、簡易間仕切り、サーモグラフィなどの購入を行い、備蓄備品については、指定避難所を中心に配置を行っている。

問 今後は、感染症に対応した施設ごとの避難所運営マニュアルの見直しなどにも取り組んでいきたい。

問 市内経済への、新型コロナウィルスによる厳しい現状を踏まえ、さらなる支援などの対策実施が必要と考えるがどうか。

答 9月1日よりペイペイ株式会社と連携した20%還元キャンペーンを実施した。

問 また、市内事業者に対しては、小規模事業者等コロナ対策応援事業補助金、安心の宿宣言支援事業補助金の申請受付などを行っている。今後は国の動向や県との連携を図りながら追加策を検討していきたい。



渡辺 竜彦

問 感染拡大防止対策の強化を図るためにも、PCR検査を含めた自治体独自の検査拡充が必要だと考えるがどうか。

答 県の一日の検査数が200件を超えた日はわずかであり、検査体制が切迫している状況ではないと考え、現時点では本市が独自でPCR検査の拡充を行う必要はないと考える。

問 学校の「新しい生活様式」への対応はどのようになっているのか。

答 手洗い、消毒を含む丁寧な清掃活動と、換気の徹底、マスクの着用、座席の間隔を空ける、集会などの人数制限などを行っている。



▲がんばれ坂井! PayPayでカモン!キャンペーン

豪雨対策の強化を

問 兵庫川は2カ所の堰を撤去するも大きな被害が出た、早期の対策を強化すべきでは。

答 兵庫川は、県の河川改修整備計画により順次改修が進められており、完了までに長い期間を要するため、関係機関に強く働きかけた。

問 春江地区の床上浸水の起きた近くには深田調整池があるが、適正に管理されていたのか。

答 深田排水は正常に機能していたが、排水路にて多少のごみの撤去を行った。

問 降水量ごとのハザードマップを策定すべきでは。

答 現在、ハザードマップの改定作業をしており、想定最大規模および計画規模の降雨量を踏まえたハザードマップを策定し、市民に分かりやすく情報提供したい。

新庁舎完成による空きスペースの活用は

問 新庁舎が完成したが、産業環境



川畑 孝治

部、上下水道課のあったスペースの活用は。

答 坂井健康センターの2階は、改修工事を行い、青少年愛護センターや各補助団体の活動拠点の事務所として活用する。

問 春江支所の3階は、当面は会議室や各種業務に伴う作業スペースとして活用したい。

答 春江支所の3階を、新たに起業する人たちのスタートオフィスとして活用できないか。

問 セキュリティ対策や、夜間や休日の出入管理などの施設改修が必要となり、非常に難しいと考える。



▲完成しつつある庁舎

宅配ボックスに補助金を

**問** 宅配ボックスの設置が全国的に広まっており、荷物の配達に係る感染リスクの低減にも有効である。

**答** 本市においては宅配ボックスの普及は進んでいないと思われるため、設置に対する補助金を出してはどうか。

**問** 県内ではまだ一般に普及しているとは言えないが、市内で新築される賃貸アパートなどでは設置が増えているようである。

**答** 新型コロナウイルス感染症対策としての宅配ボックス設置の補助は、市民の需要、個人宅での設置のメリットやデメリットなどを調査し、検討していきたい。

幼稚園にセンサーの設置を

**問** 幼稚園に不審者が侵入したり、園児が外に出て行ってしまふなどといった事件や事故が発生しないよう、幼い命を守るためにもセンサー設置などの対策が必要では。

**答** 将来を担う子どもたちの安全を守るため、防犯カメラや赤外線セ



近藤 哲行

ンサーなどの防犯システムの重要性は認識している。公立の園においては、防犯カメラ、警察署への緊急通報装置を既に設置しているところもいくつかある。

**問** 全園への速やかなシステム整備をすべきでは。

**答** 緊急通報装置の方を重視して計画的に整備を進めており、防犯カメラについては必要性に応じて順次整備していきたい。



▲緊急通報装置が設置されている幼稚園

コロナ禍の対策は

**問** 雇用情勢について、来春の高校・大卒求人状況は。

**答** 高校新卒者の求人数は504人、求職数は178人でどちらも令和元年度年比23%の減であるが、有効求人倍率は2.83倍である。大卒は福井労働局のシステム変更により、集計を行っていないため詳細は分からない。

**問** 中小企業の課題は振興条例に掲げる、人口減少や少子高齢化などに伴う内需の減少、経済のグローバル化による競争激化や後継者不足と捉えるが、整合性や実効性は。

**答** 中小企業の取り巻く環境は、自然災害や環境問題など著しく変化している。振興基本条例施行後、7カ年経過した中で、検証した上で、有識者や経済団体の意見も踏まえながら検討する。

**問** 企業業績悪化で、税収が大幅に減収する中、中期財政計画や令和3年度の予算編成の考え方は。

**答** 数億円規模の税収減の可能性があり、地方譲与税や地方消費税交



上坂 健司

進学を控える小6・中3を応援する取り組みを

付金も減と思われる。中期財政計画との乖離が非常に大きければ、見直しの可能性もある。

**問** コロナ禍での笑顔の巣立ちに卒業祝の花火大会、子どもの励ましのイルミネーション設置などのサプライズ記念事業の開催は。

**答** これらの企画について、学校の実態に即しながら計画を練る場合は、支援や協力を惜しまない。



▲「元気爆発」運動会の様子(東十郷小学校)

木部ふれあい公園再整備を

**問** 木部ふれあい公園開設から30年が経過しており、樹木は生い茂り、遊具も老朽化しているため、再整備が必要では。

**答** 再整備の計画はないが、自然を生かした安心安全な公園環境を維持していく。

社会的弱者への重層的な支援を

**問** 障がい者就労支援のためのコミュニティバスのあり方は。

**答** 基幹ルートと接続ルートがあり、接続ルートではオンデマンド型の交通の導入を検討している。運行内容・体制について考慮していく。

**問** 社会福祉課と福祉総合相談室の連携体制は。

**答** 本市の相談支援体制は多機関の協働が基本である。経済的な困窮と障がい者など、一つの世帯の中に複数の課題を抱える人には、社会福祉課と福祉総合相談室が連携し、各関係機関などの専門性を生かしながら役割分担していく。



吉川 貞明

**問** 基幹相談支援センターと委託相談事業所との連携および今後の取り組みは。

**答** 毎月1回、定期的に連絡会を開催し、相談内容の共有と情報交換を行い、それぞれ求められる機能や役割を果たしながら連携して地域福祉向上に努めている。

令和2年度からは基幹相談支援センターに、障がい者の一般就労に特化した支援を付加し、障がい者雇用の推進をしている。



▲木部ふれあい公園

新しい生活様式とは

**問** 本市の考えているウィズ・コロナとはどのような定義か。

**答** 新型コロナウイルス感染症が発生したあとからワクチンや特效薬が開発され普及するまでの、ウイルスと共存せざるを得ない期間や、その間の生活様式であると捉えている。

**問** 感染した人や家族のアフターフォローの取り組みは。

**答** 本市においては、市民向け的一般相談窓口を開設しており、幅広い悩みに対しては県の総合福祉相談所の専用ダイヤルを案内している。

**問** 今冬のインフルエンザの流行に向けて、現在、補助対象外の子供医療費助成制度の対象年齢の子ども、妊婦、医療従事者には令和2年度に限り、予防接種の無償化を実施できないか。

**答** 今シーズンのワクチン供給量は



後藤 寿和

令和元年度比約12%増の見込みである。予防接種を幅広く無料化することにより、特定の地域でワクチンの需要量が急増すると需給が逼迫し、かえって優先的な接種対象者に対する確保に支障が生じるなどの混乱が懸念される旨が伝えられているため、現時点においては考えていない。



▲予防接種の様子

少人数学級の推進を

**問** 「学校の新しい生活様式」を踏まえ、学級人数を30人、さらにそれ以下に減らしていく取り組みが必要では。

**答** 3密を防ぐために、できる限り教室内のスペースを確保するなど、さまざまな対策を講じている。これからの新しい学校生活にあり、さらなる少人数化が実現されることを望ましいと考える。

**問** 少人数学級の拡充における、教員や教室の確保などの課題と、拡充に向けた創意工夫が必要では。

**答** 1学級30人とした場合、教員数の大幅な確保と教室の数を相当数増やす必要がある。

**問** 現在、児童数が多い学級は、面積の広い多目的教室などに学びの場を移すなど工夫をしている。

**答** 換気の促進や空気洗浄など、学校と相談し、対策を講じていく。

本市が地球温暖化防止の先頭に立ち「気候非常事態宣言」を

**問** 5月末までに27の自治体が「気候非常事態宣言」をしていく。



畑野麻美子

**問** 候非常事態宣言」をしているが、本市が県内初の「宣言」をしては。

**答** 第二次環境基本計画策定の協議を進めており、「気候非常事態宣言」についても、国の方針なども踏まえ、前向きに検討していく。

**問** 「宣言」の中にある「エシカル消費はSDGsのゴール12の「つくる責任・つかう責任」に関連する取り組みである。

**答** 「エシカル宣言」をし、エシカル消費の普及・啓発を。

**問** 市消費者団体連絡協議会や県とも連携しながら、エシカル消費の推進を積極的に取り組んでいく。



▲30人以上の学級の様子

※エシカル消費…人や社会・環境に配慮した消費行動

市の排水計画は

**問** 平成28年度に完成した、パイプライン事業の今後の排水計画はどのようになっているのか。

**答** パイプライン通水後、高椋、新江用水路は排水路として、市が管理している。

**問** 令和元年度県指導のもと、鳴鹿土地改良区において調査し、現在排水対策を検討している。

**答** 旧十郷用水路などについては、令和3年度調査する予定である。

**問** 転作率の増加、農地の開発行為などで、水田の保水能力が減少していると思うが、市はどのような対策を講じているのか。

**答** 農地の保水能力を最大限に生かすため、多面的機能支払い交付金や、中山間地域等直接支払い交付金事業を通じて地域住民を支援している。

**問** 開発行為については、都市計画法に基づき調整池の整備など、適正な指導に努めている。

**答** 洪水被害を軽減する「田んぼダム」対策をどう考えるのか。  
本市では、2年3作体系での作



戸板 進

**問** 付けを推進していることから、十分な排水対策が必要であるため、慎重に検討する必要があると考える。

**答** 農地の排水が用水に流れ込む地域の現状をどう考えるのか。

**問** 6月の豪雨を1つの教訓として、市役所内での所管区分、官民協働という形の中での役割分担について、今後明確となるような話し合いの場を設定しながら、不測の事態に備えるような準備を整えていきたいと考える。



▲令和2年6月14日豪雨による磯部川の越水の様子(春江町中筋地保)

新型コロナウイルスに打ち勝つ、体内自然免疫をパワーアップするために

**問** 学生生活を支援するためにふるさと仕送りプロジェクトを行っているが、学生から大学に行けない苦悩などの情報が来っていないか。

**答** 547人の学生から申請があり、コメントには「実家に帰れない」「就職活動が進まない」「バイトができない」などの意見もあったが、「いつか坂井市に恩返しをしたい」といったコメントもあり、シビックプライドの醸成にも効果があったと考えている。

**問** 特に高齢者がいかに外に出てコミュニケーションを取り、体を動かして健康を保つかが大切であり、朝のラジオ体操が有効であると思う。ラジオ体操を奨励しポイントを獲得できるようにしてはどうか。

**答** 免疫力を向上させるため、適度な運動や笑い、他人との会話が良い効果をもたらすことは、広く知られている。介護予防の取り組みも含め、動機づけの観点からも今後検討して



南川 直人

**問** BCG接種が新型コロナウイルスに対する免疫に有効であるという報告があるが、幼児のBCGワクチンを確保した上で、高齢の希望者にBCG接種ができないか。

**答** 日本ワクチン学会によると、高齢者への接種に関しては現時点では推奨されないとの見解を示している。

**問** 行政として医師会との連携が必要ではないか。

**答** アフターコロナに向け市の事業の進め方も含め、医師会と話す機会を設けたい。

| 国・地域   | 100万人当たり2020年死亡数 | BCG接種の開始年     | BCG接種率     |
|--------|------------------|---------------|------------|
| スイス    | 5.67             | 1965～1981年    | デンマーク後     |
| イタリア   | 478              | —             | —          |
| 韓国     | 419              | 1953～2005     | デンマーク後     |
| フランス   | 381              | 1950～2007     | デンマーク後     |
| スウェーデン | 274              | 1940～1975     | デンマーク後     |
| 韓国     | 267              | —             | —          |
| ドイツ    | 82               | 1961～1998     | バコウ後       |
| イラン    | 75               | —             | デンマーク後     |
| フィンランド | 43               | 1941～2006     | デンマーク後     |
| トルコ    | 40               | —             | インド後       |
| ノルウェー  | 39               | 7～2009        | デンマーク後     |
| 韓国     | 5                | —             | —          |
| 韓国     | 4                | 1950年前～1980年代 | コロンビア後     |
| 日本     | 4                | —             | —          |
| 中国     | 3                | —             | ロシア・ブルガリア後 |
| イラク    | 2                | —             | —          |
| 台湾     | 0.3              | —             | —          |

▲100万人当たりの新型コロナウイルスによる死亡数とBCG接種

スマート農業推進と農業振興の取り組みは

**問** スマート農業機械の導入状況は、直進を自動で保つ田植え機やドローンによる薬剤防除など、有人での作業を支援する機械を中心に徐々に導入が進んでいる。

**答** スマート農業の推進方策は、基地局を経由した位置情報を活用することで農業機械の操作が自動化され、農業経験の浅い人でも安心して作業に従事できる環境を整うことで、後継者育成にも一翼を担うものと考えている。

**問** 推進のための財源確保は、寄附市民参画事業の提案をもとに坂井市版下町ロケット実践事業を計画し、農業機械に搭載する自動運転が可能となるシステム導入や、GPS基地局の利用費を5年かけて支援する予定である。

**答** 令和2年1月より1億2千万円を目標額に寄附を募集している。

**問** 消費者センターの機能充実を

**答** 平成30年度、令和元年度の相談



田中千賀子

**問** 件数、被害金額は。

**答** 平成30年度の相談件数は353件、令和元年度の相談件数は278件で、被害金額は福井県全体で平成30年は1億1千万円、令和元年度は約1億円となっている。

**問** 資格を要する相談窓口の職員を1人増員すべきでは。

**答** 前向きに取り組むたい。職員の研修の予算確保は、十分研修に参加ができるような環境にしていく。



▲自動で田植えをしている様子

市立三国病院の新型コロナウイルス感染症とインフルエンザの同時流行対策は

**問** 新型コロナウイルスの影響は、外来患者数の減少幅は、令和元年度比で3月が12%減、4月が25%減、5月が29%減、6月が18%減で、7月以降は10%減の状況である。

**答** また、7月からはPCR検査も実施するなど、関係職員の精神的負担も大きい。

**問** 同時流行対策として発熱外来者用診察室などの改修は十分か。

**答** 発熱外来患者は一般外来患者と動線を分け、発熱外来専用の入口を設けて、改修した専用診察室で検査や診察を行う。

**問** 病院の安全対策や発熱外来、一般外来の利用方法などを市民に周知することが重要と考えるが。

**答** 安全を確保し、安心して受診できるように、具体的な運用方法をホームページなどで周知したい。

**問** コロナ禍を経験し、地域に存在する資源、技術、産業、人材などを活用し、地域内で循環する、いわゆる内発的発展を基本として地域産業を支援することが求められているがどうか。

**答** 事業の実績やアンケート調査などにより事業効果の分析なども行い、さらなる支援などの実施が必要と判断した場合には、追加施策も検討したい。

コロナ禍後の地域を考える

**問** ペイペイでの電子決済による20%還元は、ペイペイを利用できる市民、店舗のための施策である。恩恵を受けられない市民や店舗への支援策を求め。

**答** 利用実績などの状況を把握し、事業効果を検証する。

**問** 農業経営の支援として、農業者に対し持続化給付金が受けられる制度であることを知らせることを求める。

**答** 稲作農家では、令和2年度の米価などの状況により、給付金の対象となるかどうか判断した上で申請することになると思われる。

**問** 市税減免規則は、実効ある規定に改正を

**答** 坂井市税減免規則は、所得が前年度比で下がった額ごとに、減免割合を細かく規定しているが、減免が適用されるためには、担税力がないことを前提としている。これを実効ある規定とするために、「生活が著しく困難となった者」との規定は削除すべき。



前田 嘉彦

また、発熱外来で来られた患者には、専用診察室への誘導を分かりやすく表示したい。

**問** 三国病院における検査・医療体制の強化への対応は。

**答** 県の補助金を活用しながら、インフルエンザの検査と新型コロナウイルス感染症の検体採取を実施し、同時流行に備えたい。

**問** 外国人交流人口の増加が見込まれる中での課題と対策は。

**答** 外国人の外来受診状況は、月平均、延べ人数で約15人で、窓口受付での基本的な対応はスマートフォン翻訳アプリで対応している。

**問** 三国病院においても可能な範囲で医療の提供に努めたい。



▲整備中の三国病院発熱外来



松本 朗

**問** 市税減免規則は、実効ある規定に改正を

**答** 坂井市税減免規則は、所得が前年度比で下がった額ごとに、減免割合を細かく規定しているが、減免が適用されるためには、担税力がないことを前提としている。これを実効ある規定とするために、「生活が著しく困難となった者」との規定は削除すべき。

**問** 担税力があるにもかかわらず税を減免することは、租税負担の公平性を著しく損なうこととなり、削除することは適切ではない。



▲PayPayキャンペーンののぼり

特別定額給付金事業は

**問** 特別定額給付金の給付状況は。

**答** 本市の市民に対する給付実績は、99.9%であった。未給付件数は107世帯の134人で、居所不明者が13人、単身世帯で申請前に死亡した人が12人、辞退した人が13人、他96人の未申請の理由は把握できていない。

コロナ禍の福祉総合相談室の相談状況は

**問** 相談件数と支援状況は。

**答** 4月から8月末までの生活保護開始件数が13件で、うちコロナ禍の影響によるものが3件、生活困窮者自立支援機関の新規相談件数が155件、住宅確保給付金の決定は19件であった。

また、市社協が申請窓口となる生活福祉資金の特例貸付は、緊急小口資金が238件、総合支援資金が72件であった。

**問** 平成29年から実施をしているさかまる会議の成果と課題は。

**答** 関係する機関の共通認識のもと、



▲さかまる会議の様子

※さかまる会議…福祉総合相談室の連携担当職員が中心となり、困難な個別案件を庁内で協議する会議



三宅小百合

各分野の専門性を生かした連携体制が構築できた。

課題は、引きこもり、不登校、住宅要配慮者への居住支援、ごみ屋敷の対応など、従来の福祉サービスでは課題解決が困難な事案の増加が浮き彫りになった。

**問** ひとり親世帯の継続的支援は。

**答** 女性相談員や母子父子自立支援員による専門的な支援や就労支援など、関係機関と連携しながら包括的な相談支援に努め、今後も新型コロナウイルスの感染状況を鑑みながら、ひとり親世帯の継続的支援を検討する。

断らない相談・支援体制へ

**問** 令和3年4月の改正社会福祉法の施行に向け、重層的支援体制整備事業について、どのように取り組むのか。

**答** 既存の相談支援などの取り組みを生かしつつ、地域住民の複雑化また複合化した支援ニーズに対応する包括的な支援体制を構築するために、相談支援・参加支援・地域づくりに向けた支援を一体的に実施する事業である。

インフルエンザ、新型コロナウイルス対策を

**問** インフルエンザ予防接種において、優先順位に基づき、混乱を招かないよう早めの周知を。

**答** 早く周知するとともに、優先順位の高い高齢者や幼児について、予約をして受診することで、混乱を招かないようにする。

**問** 三国病院や市内医療機関でのイ



永井 純一

ンフルエンザ対策と新型コロナウイルス対策の診療体制を図り、安心して受診できるよう周知徹底を。心して受診できるように周知徹底を。

**問** 同時流行に備え、インフルエンザ検査と新型コロナウイルス感染症の検体採取の実施に向け準備を行っている。

**答** 市内医療機関と連携、協力をしていく。

**問** インフルエンザ予防接種料金の助成拡充を。

**答** 接種料金の補助拡充は考えていない。



▲市役所の相談室

Topics

嶺北地域の産業・観光振興および交通ネットワークの強化のために



令和2年9月11日(金)、坂井市役所に来庁した稲田朋美衆議院議員に対して、古屋議長、佐藤副議長が福井港丸岡インター連絡道路の整備促進を要望しました。

内容としては、事業中區間(長さ3.6キロメートル)を早期に整備するための予算確保と、春江町西長田から坂井町福島までの区間(長さ2.8キロメートル)を新規事業として採択するよう求めました。

◀1日も早い全線整備を

● 今号の表紙 ●

表紙は活動の一環としてそば打ちをしている、丸岡高校地域協働部の部員たちです。また、代表して部長の吉岡日菜多さんにインタビューをしました。

- Q. そば打ちの魅力は？
- A. 上手いく日も、あまり上手くない日もあるけれど、自分が思ったとおりに打てることです。
- Q. 今後の目標は？
- A. 来年のそば打ち選手権大会の全国大会に出ることです。先生方に「教えて良かった」と思っていたけように打ちたいです。



● 議会を傍聴してみませんか ●

★12月定例会会期日程(予定)

|             |      |                  |
|-------------|------|------------------|
| 11月27日(金)   | 10時～ | 本会議(行政報告・議案説明など) |
| 12月 7日(月)   | 10時～ | 本会議(代表質問)        |
| 8日(火)・9日(水) | 10時～ | 本会議(一般質問)        |
| 11日(金)      | 10時～ | 産業建設常任委員会        |
| 14日(月)      | 10時～ | 教育民生常任委員会        |
| 15日(火)      | 10時～ | 総務常任委員会          |
| 21日(月)      | 10時～ | 本会議(委員長報告・採決など)  |

※ 日程は、変更になる場合がありますので、あらかじめご了承願います。

8月12日発行の「坂井市議会だより」第57号の文中に次の誤りがありましたので、お詫びして訂正いたします。

【訂正箇所】2ページ 「市議会の構成」産業建設常任委員会の議員氏名

誤：前川 嘉彦 正：前田 嘉彦

編集後記

少しずつ陽射しが弱くなり紅葉が散り始める頃となりました。イチヨウ並木が黄色く色付いてきましたが、今年は白い花が咲くそば畑が増えたことにお気付きでしょうか。

令和2年4月に「おいしいそば産地大賞」の鑑定会で、福井在来種のそばが見事グラップリに輝きました。

福井の気候風土に根付いて栽培されてきた在来種そばの美味しさが全国で認められました。

今では在来種を栽培している地域は、全国でも少なくなってきましたが、本市は在来種のそばを大切に育ててきました。

この希少な在来種そばと観光を結び付け「在来種そば王国・さかい」として、豊かな福井の新たな産業となることを願っております。

さて、本格的な冬はすぐそこです。

忙しい年末を前に、お体に気をつけてお過ごしください。

(三宅)

コロナ禍における学校運営の負担軽減を

令和3年度から全児童生徒にタブレット端末が整備されるが、教員のICT指導力向上に向けた具体的な取り組みは。

児童・生徒の学習の進捗状況や理解度が容易に確認できる学習支援ソフトの導入を検討している。また、全小中学校において研修を行い、ICTの指導主事の確保や企業に協力を要請していく。

修学旅行の行き先を県内に変更するには、明確な基準を持ち、各学校と相談できる体制が必要では。市独自のガイドラインを策定し、各学校と連携している。

修学旅行の行き先変更において、国や県の補助制度を活用するの国や県の補助を活用し、家庭の負担軽減に努め、安全で安心な思い出に残る、楽しい修学旅行の実施に向けて取り組んでいる。

スクールバス内の密集を避けることを目的に、バスの増便を実施しているが、その基準は。運行されているバスの乗車定員



川端 精治



▲スクールバスに乗り込む児童の様子

や形状が学校ごとに異なっているため、明確な基準を設けていないが、各学校と十分に話し合い、費用対効果を見据えて、密集を避けるバスの運行に努めている。

スクールバスについて、さまざまな課題があるが、収束後の運行はどのように考えているのか。

始業時間や帰宅時間が遅くなるなど、地域によってさまざまな課題があるが、バスの運用も含めて課題解決に努力していく。

決算特別委員会を設置

委員会では、予算が適正かつ効率的に執行されたか、また、今後の行財政運営においてどのような改善工夫をすべきかなどに着眼し、「令和元年度坂井市一般会計」他6会計の決算審査を行いました。

【委員】

- 南川 直人(委員長) 前川 徹(副委員長)
- 三宅小百合 後藤 寿和 東野 栄治
- 伊藤 聖一 川畑 孝治 永井 純一
- 畑野麻美子 山田 栄 広瀬 潤一
- 田中千賀子

【審査日程】

| 月 日       | 審査区分 |
|-----------|------|
| 9月4日(金)   | 設 置  |
| 10月5日(月)  | 所管審査 |
| 10月7日(水)  | 所管審査 |
| 10月9日(金)  | 所管審査 |
| 10月22日(木) | 意見整理 |
| 11月5日(木)  | 意見整理 |
| 11月12日(木) | 講 評  |



※審査結果は次号でお知らせします。



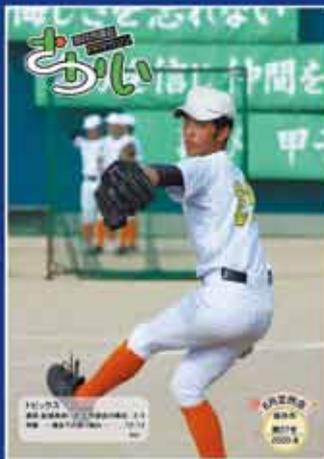
あなたの**写真**で  
坂井市の**魅力**を伝えてみませんか

# 表紙写真募集中!



発行部数約3万部、市内全世帯に配布される議会広報誌の表紙写真を募集します。季節感あふれる、あなたが撮影した奇跡の1枚お待ちしております。

## 募集要項



▲掲載イメージ(第57号)

**掲載月** 5月、8月、11月、2月  
**応募資格** 市内在住、または在勤・在学している人  
**応募期間** 希望掲載月の前月第1月曜日まで  
**応募要件**

**注意事項**

- ・市内で撮影したもの(概ね1年以内で未発表のもの)
- ・写真は、縦長で撮影された3MB以上の画像データ(JPG、JPEG形式等)
- ・応募者以外に被写体となっている人の承諾を必ず得てください。承諾を得ていなかった場合のクレーム・トラブルなどについては、一切の責任を負いかねます。なお、個人の所有物に関しても、同様とします。
- ・採用された写真は無償で坂井市議会が使用することに承諾したものとします。また、サイズ調整等のため加工を行うことがあります。
- ・選考は市議会広報編集委員会で行います。なお、審査内容についてはお答えできません。

**応募方法**

- ①撮影者の氏名、
- ②住所、
- ③電話番号、
- ④掲載希望月、
- ⑤撮影年月、
- ⑥撮影場所、
- ⑦写真の説明を記入し、写真データを添付してメールで送付ください。

問い合わせ先：坂井市議会事務局

TEL 0776-50-3001 MAIL gikai.fukui.sakai@gmail.com



▲応募はこちらから